

これからもみんなの尾瀬であるために

入場
無料

参加者募集



1995年に設立された尾瀬保護財団は、今年設立20周年を迎えました。これまでの尾瀬の歴史と財団の20年の歩みをふりかえり尾瀬の将来を展望するとともに、多くの方に尾瀬の魅力を知っていただくため、尾瀬保護財団設立20周年記念シンポジウムを開催します。

「みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ」ために次の世代に尾瀬の素晴らしい魅力を伝え、併せて保護や適正利用の取り組みを知っていただき、尾瀬ファンが増えて尾瀬への応援の輪がさらに広がることを願っています。

基調講演 「日本を代表する自然・尾瀬の魅力」

講師 橋谷 晃

(ネイチャアリング・スクール「木風舎」代表)

「大好きな自然と人とのいい関係を創るには、とにかく自然の良さを体感してもらうのがいちばん！」と、木風舎のチーフガイドとして活躍するほか、講演、メディアやイベントなどの出演などで全国を飛び回っている。尾瀬でのガイド経験も多数。

NHK・Eテレ『チャレンジ! ホビー・あなたもこれから山ガール』の講師や、テレビ朝日『大人の山歩き』のガイドとしてレギュラー出演したほか、各種テレビ・ラジオ番組に多数出演。『毎日新聞』『日経新聞』などの連載コラムをはじめ、『山と溪谷』『岳人』『スキージャーナル』などの雑誌にも数多く執筆している。



日時 2015年12月19日(土) 午後1時～5時

会場 日本消防会館ニッショーホール

(東京都港区虎ノ門2-9-16)

〈同時開催〉

第20回 NHK「わたしの尾瀬」写真展

ニッショーホール内 11時～18時

■お申し込み方法：裏面をごらんください

■お問い合わせ：公益財団法人尾瀬保護財団 <https://www.oze-fnd.or.jp>

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県庁17階

TEL 027-220-4431 FAX 027-220-4421 E-mail oze20@oze-fnd.or.jp

主催 公益財団法人尾瀬保護財団

後援 環境省関東地方環境事務所、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、産経新聞社前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、福島民報社、福島民友新聞社、上毛新聞社、新潟日报社、NHK福島放送局、NHK前橋放送局、NHK新潟放送局

申込方法

①往復はがきの場合

往信裏面に申込者の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、希望人数（5人まで）を、返信表面に申込者の郵便番号、住所、氏名を記載してください。

11月30日以降に、入場整理券を発送します。

・申し込み先

尾瀬保護財団 記念シンポジウム係（〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県庁17階）

<p>52 371-8570</p> <p>前橋市大手町 1-1-1 群馬県庁内</p> <p>尾瀬保護財団 記念シンポジウム係 あて</p> <p>〈往信表面〉</p>	<p>(入場整理券を印刷しますので何も書かないでください)</p> <p>〈返信裏面〉</p>
<p>52</p> <p>申込者の</p> <ul style="list-style-type: none">・郵便番号・住所・氏名 <p>〈返信表面〉</p>	<p>申込者の</p> <ul style="list-style-type: none">・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス（あれば）・希望人数（5人まで） <p>〈往信裏面〉</p>

②メールの場合

件名を「シンポジウム参加希望」とし、申込者の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、希望人数（5人まで）を記載してください。当日は、こちらからの返信メールを ①印刷して持参していただくか、②受付で携帯電話のメールを提示していただきます。②の場合は、返信メールを削除しないでください。

・申し込み先アドレス oze20@oze-fnd.or.jp

申込締め切り

12月11日（金）必着

※先着順。定員（500人）になり次第締め切らせていただきます。

参加費 無料

プログラム

- 主催者挨拶など
- 特別表彰
- スライドトーク

写真家 新井幸人「尾瀬に魅せられて」

尾瀬保護財団理事も務める同氏に、空撮等の映像を通じて尾瀬の魅力を語っていただきます。

- 基調講演 橋谷 晃
- パネルディスカッション

・コーディネーター：竹内 純子

(NPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員、元東京電力社員で在職中は尾瀬の自然保護活動を担当)

・パネリスト：

神谷有二（山と溪谷社Yamakei Online部長、日本自然保護協会理事）

桑原幸子（魚沼市観光協会事務局長）

関根 進（尾瀬山小屋組合長、尾瀬保護財団評議員）

松浦和男（片品山岳ガイド協会会長）

芳見弘一（福島民報社編集局長、尾瀬保護財団評議員）

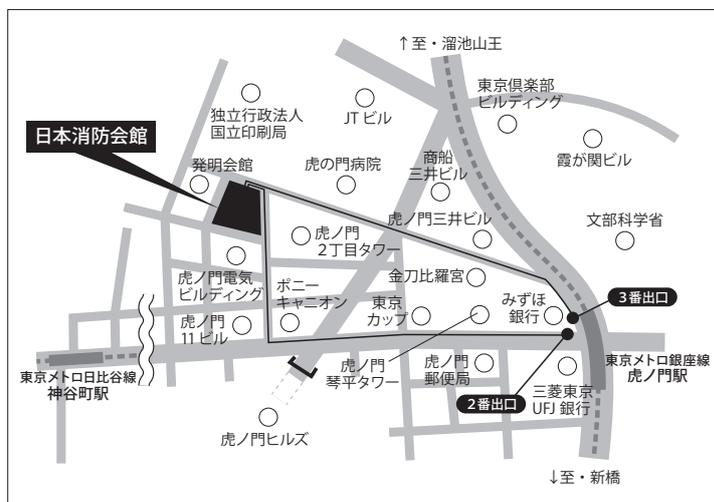
会場アクセス

日本消防会館ニッショーホール（東京都港区虎ノ門2-9-16）

・東京メトロ銀座線「虎ノ門」下車 2番・3番出口徒歩5分

・東京メトロ日比谷線「神谷町」下車 4番出口徒歩10分

※駐車場はありません。



尾瀬保護財団とは

尾瀬利用者に対して自然への理解を深めるための解説活動及び適正利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種環境保全対策、公園利用施設の管理運営、調査研究及び顕彰活動を推進し、尾瀬のすぐれた自然環境の保全を図ることを目的に、1995年に設立されました。福島県、群馬県、新潟県、檜枝岐村、南会津町、片品村、魚沼市、東京電力等が出捐しています。